



録画配信 **ボートのまち戸田**

本当の「ボートのまち戸田」を目指そう！

戸田の会
野澤 茂雅 議員

Q ボートのまちづくりに向けての施策は

A ボートのまちづくりコンソーシアムを推進

議員 市民がボートに親しむ事業の現状は。

市民生活部長 地域資源である戸田ボートコースや彩湖にて各種ボート教室・カヌー教室を通年で実施し、市民がボートなどに触れる機会の提供に努めている。

議員 「ボートのまち戸田」に向けて、常にボートに触れ、ボート競技人口を増やすことが重要である。クラブチームの育成や市民参加イベント、エルゴメーターの活用、大学ボート部との交流を推進してほしい。また、戸田公園駅から戸田ボートコースまでの「ボートのまちづくり」についての現状は。

各部長 ボート競技を意識し、戸田公園駅西口に炬火台モニュメント、ボートをイメージしたバスシェルターと照明灯を、ボートコースまでのアクセス道路に案内サイン、エイトのモニュメントを設置している。

議員 今後のボートのまちづくりに向けての施策は。

市民生活部長 ボートを通して地域活性化につなげるため、ボートコース関係の大学や企業、団体と町会などで構成するコンソーシアム（協議体）を立ち上げ、ボートのまちづくりを検討していく。

議員 コンソーシアムにおいては、市民の皆様が常に心から「ボートのまち戸田」と思えるようなまちづくりの計画と実行を期待する。



戸田公園駅は「ボートのまち」の玄関口



録画配信 **物価高騰対策**

生活支援に豊かな財政を生かしてほしい

日本共産党戸田市議団
本田 哲 議員

Q 今後、交付金が配分された時の対応は

A 交付金の趣旨などを踏まえ検討する

議員 今回、物価・原油価格高騰対策として約2億5千万円の交付金が国から配分され、上下水道基本料金4カ月減免などに活用された。今後、新たな交付金が国から配分された時の対応について伺う。

企画財政部長 国から新たな交付金が配分された場合、交付金の趣旨やその時の社会情勢を踏まえ検討する。

Q 生活保護制度の概要チラシを公共施設に

A ホームページの充実など周知に努める

議員 市は、ホームページで生活保護制度の概要を掲載し周知している。ホームページに掲載している制度概要をチラシにして公共施設に置き、誰でも気軽に手に取れる環境を整備すべきではないか。

健康福祉部長 制度周知は大切であると認識している。ホームページを充実させるなど周知に引き続き努める。

Q 南町11番北東交差点に横断歩道を

A 交通量調査を実施する

議員 戸田中通り南町11番北東交差点に横断歩道を。

都市整備部長 歩行者の横断状況や車両の交通量などを調査し、地元町会の意見も伺い、警察への設置要望を検討する。



実態に合った交通安全対策が求められる



録画配信 **公共施設更新**

小中一貫校や複合化の例が先進市に見られる

戸田の会
浅生 和英 議員

Q 西部地域の施設更新は包括的に検討を

A 柔軟に公共施設の在り方を検討していく

議員 西部地域は4つの公共施設の更新を予定している。地域にとって100年に一度のまちづくりであり、課題解決のチャンスである。西部地域の施設更新は、まちづくりとして包括的に考えるべきであり、計画策定には構想段階からの住民参画が重要①公共施設の再編は②美笹中、美谷本小、笹目小の建て替えは③美笹中と西部福祉センターの複合化は④どのような学校を目指すのか⑤地域住民との意見交換会などの設置を。

企画財政部長 ①人口増加や市民ニーズを考慮し、柔軟に公共施設の在り方を検討していく必要がある②美笹中は概ね10年以内、美谷本小・笹目小は概ね10～15年の間の建て替えを目標としている③合築だけの複合化ではなく、さまざまな観点から検討していく。

教育部長 ④ICT環境整備を推進し、質の高い教育環境の整備を行っていく⑤複合化など、公共施設全体に関わる取り組みのため、全庁的な課題として研究していく。

その他の質問

Q 公園のトイレを和式から洋式へ

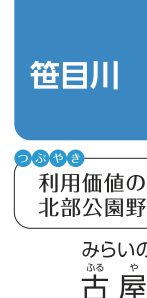
A スピード感をもって対応すべき喫緊の課題である

Q 浸水に備え、公園の地下に貯留管を設けては

A 有効な雨水流出抑制対策を研究していく



美笹中学校単独での建て替え？西部福祉センターとの複合化？さまざまな方法が考えられます



録画配信 **笹目川**

利用価値の高い北部公園野球場にしたい

みらいの会
古屋 としみつ 議員

Q 水質改善のためのしゅんせつは

A 今年中の着手が予定されている

議員 ①笹目川の取水水門周辺で、樋門の新設によりボートコースへの流入を抑制できるようになると、逆に笹目川の水位上昇が懸念されるが、治水対策の考えは②水質改善のためのしゅんせつが必要では。

水安全部長 ①合流するさくら川の護岸整備を市が実施するほか、ボートコースの水位を事前に下げる運用により貯留量の確保に努める②しゅんせつは、水質改善だけでなく流下能力の向上につながる。県では今年中の着手を予定している。

Q 北部公園の特徴を生かした賑わいを

A 何度も来なくなるコンテンツが必要

議員 野球場のある公園、北部公園を賑わいのある公園にするために、「ちびっこぼうけんひろば」、チョークアートなどの団体が定着する、親子で楽しめる催しを開催できないか。

環境経済部長 さまざまな団体が北部公園で社会実験を実施できるようPRする。また取り組みが定着するよう、サポートする仕組みを考えていく。



賑わいに向けた「仕掛け」が求められる北部公園

※しゅんせつ…河川などの底をさらって土砂やペドロを取り除く作業